

医療安全通信 第33号-1

【薬局部医療安全委員会】

医療安全推進のため、Pharma Bridgeを通じて、医療安全上の周知すべき情報やタイムリーな話題を随時発信いたします。業務手順書の書換えや日常業務にお役立てください。

「ノルバデックス」と「ノルバスク」の 販売名類似による取り違えについて

PMDA（医薬品医療機器総合機構）より、「製薬企業からの医薬品の安全使用（取り違え等）に関するお知らせ」が紹介されています。

<http://www.pmda.go.jp/files/000217948.pdf>

ノルバデックス （タモキシフェンクエン酸塩）
：抗乳癌剤

ノルバスク （アムロジピンベシル酸塩）
：高血圧症・狭心症治療薬／持続性Ca拮抗薬

について、販売名の類似により、処方オーダーリングシステムで薬剤の選択ミスを起こした事例が、繰り返し報告されています。

抗癌剤等のハイリスク薬や、処方オーダーリングシステムで誤入力しやすい医薬品を処方された患者に対して、病歴や薬歴等の確認をしっかりと行い、適切な処方鑑査により、薬剤の選択ミスによる誤投与を未然に防止しましょう。

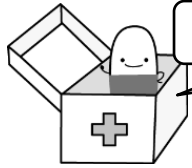
処方鑑査時、薬剤交付時に

- 患者へのインタビューにより、
どの時点でどのような疾患で受診したか 確認する。
- 処方箋に記載された処方科で処方される薬剤であるか
確認する。
- 併用薬、病名などの情報を利用し、
前回の処方歴および薬歴との照合 をする。

新しく配属になった職員をはじめ、全職員に対して、ノルバデックスとノルバスクの両薬剤を間違えやすい医薬品として認知する機会（研修等）を設ける等、「薬剤取り違え注意」および「薬剤選択ミスによる誤投薬防止」の啓発と周知をしてください。

次頁に、製薬企業（アストラゼネカ株式会社、ファイザー株式会社）が作成した、「ノルバデックスとノルバスクの両薬剤の販売名・薬効分類名を記載した表」を示します。印刷して、薬局内に掲示する等、活用してください。



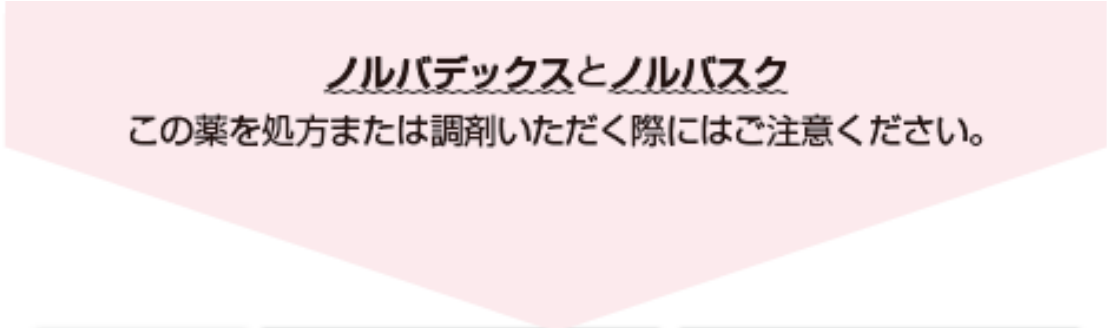


医療安全通信 第33号-2

【薬局部医療安全委員会】

「ノルバデックス」と「ノルバスク」の 販売名類似による取り違え注意のお願い 【一部抜粋】

全文は右記よりご確認ください。http://www.pmda.go.jp/files/000217948.pdf



ノルバデックスとノルバスク

この薬を処方または調剤いただく際にはご注意ください。

薬効分類名等	抗乳癌剤	高血圧症・狭心症治療薬・ 持続性 Ca 拮抗薬
販売名	ノルバデックス	ノルバスク
製造販売元	 アストラゼネカ株式会社 〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号	 ファイザー株式会社 〒151-8589 東京都渋谷区代々木 3-22-7
PTPシートデザイン および特徴	PTPシート上部に 「 抗女性ホルモン剤 」の記載 表面が銀色（錠剤が見えない）	PTPシート裏面に 「 高血圧症・狭心症の薬です 」 の記載 表面が透明（錠剤が見える）
PTPシートの写真	 ノルバデックス錠 10mg	 ノルバスク錠 5mg
錠剤の写真		 *錠剤写真はノルバスク フィルムコーティング錠です

※製品をご使用の際は最新の添付文書をご確認ください。